

課題番号	LZ006
------	-------

**先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)
実施状況報告書(平成25年度)**

本様式の内容は一般に公表されます

研究課題名	グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題
研究機関・ 部局・職名	金沢大学・医学系・助教
氏名	日比野 由利

1. 当該年度の研究目的

<p>I. 海外、とくにアジアや新興諸国における生殖医療に関する実態・文献調査を行う。日本から生殖ツーリズムが行われている国に加え、これまで国内での情報が不足しているか皆無であった国の現状調査も行う。これらについて適宜研究会のホームページなどで情報提供するほか、可能な限り情報の体系化・統合化を図り、報告書として一般に公開する。</p> <p>II. 生殖ツーリズムに関する欧米での議論や政策対応について、文献調査する。昨年から今年にかけて、生殖補助医療に関し、我が国で法整備を進める動きが強まっている。海外の現状調査の結果もふまえ、我が国の政策決定に資する基礎資料の提出および政策提言を行う。</p> <p>III. 国内の関係者への意見聴取(主としてアンケート、補助的にインタビュー)を行う。</p> <p>IV. 講演会・シンポジウムを開催し、国民の関心を喚起するとともに、議論の内容・論点を総括し、公表する。</p>

2. 研究の実施状況

<p>I. 前年度に引き続き、海外調査を実施した。現地で医師、エージェンシー、代理母、卵子ドナー、政府関係者等へヒアリングを実施した。海外調査に先行して、各地の法律、法案、生殖補助医療に関する新聞記事などを収集し、必要に応じて訳出した。各国について収集した文献資料の一部は、ホームページ(http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/essay.html)やブログ(http://azuki0405.exblog.jp)に公表されている。これまでの研究のまとめとして、編著 2 冊を公刊した。『グローバル化時代の生殖技術と家族形成』(計 11 名による分担執筆)。『アジアの生殖補助医療と法・倫理』(計 6 名による分担執筆)</p> <p>II. 生殖ツーリズム(cross-border reproductive care; CBRC)についてのヨーロッパの議論、とくにESHRE のガイドラインを調べた。一部はブログに要約している。また、CBRC についての論文を執筆・公表した。海外での不妊治療や、その実態をふまえて国内で生殖補助医療についてどのような制度化を行っていけばよいかについて、講演会(「卵子提供の制度設計を考える」)を開催し、講演録を印刷公表した。実施したアンケート調査の結果の紹介とともに、新聞などメディアでコメントをした。</p> <p>III. 国内関係者への調査として、不妊患者、児童養護関係者、小児科医師に対し、アンケート調査を</p>

様式19 別紙1

3 件実施することができた。単純集計結果及び解説を加えた報告書を公表し、web で公開するとともに、協力施設及び関係者に配布した。

VI. 国民との対話として、公開形式で報告会あるいは講演会を企画、開催した。研究者、医療関係者、一般人、メディアを含めて多数の参加者を得ることができた。一部を講演録として編集し、web で公開するとともに、印刷公表した。医療関係者、児童福祉関係者、当事者などへの啓発のための小冊子(『精子・卵子・胚の提供をともなう生殖医療と家族』)を 2,000 部刊行し、各方面に配布した。

3. 研究発表等

<p>雑誌論文 計 3 件</p>	<p>(掲載済み一査読有り) 計 1 件 Yuri Hibino, Yosuke Shimazono, Kambayashi Yasuhiro, Hitomi Yoshiaki, and Nakamura Hiroyuki. Attitudes towards cross-border reproductive care among infertile Japanese patients. Environmental and Preventive Medicine. 2013;18(6): 477-484.</p> <p>(掲載済み一査読無し) 計 0 件</p> <p>(未掲載) 計 2 件 Yuri Hibino and Yosuke Shimazono. Impact of egg-donation deliveries from domestic and overseas sources on maternal care: a questionnaire survey of Japanese perinatal physicians. Environmental Health and Preventive Medicine (accept).</p> <p>日比野由利 「生殖技術のグローバル化と日本」 『医学哲学医学倫理』(受理)</p>
<p>会議発表 計 7 件</p>	<p>専門家向け 計 4 件 日比野由利 ベトナムにおける不妊の医療化と第三者生殖技術の現状 第52回 日本母性衛生学会 2013年10月5日 埼玉</p> <p>日比野由利晩産化時代の卵子提供ツーリズムと国内解決法 第 33 回日本医学哲学倫理学会シンポジウム 「医療のグローバル化—臓器移植・生殖補助医療・臨床試験—」2013 年 10 月 20 日 大阪歯科大学</p> <p>日比野由利「不妊患者の卵子提供に対するニーズと選好」(第 23 回 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会『卵子提供の制度設計を考える』)(自ら主催) 2013 年 9 月 14 日 京都</p> <p>日比野由利「渡航不妊治療とアジアの生殖医療の実情」(第 22 回 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会『グローバル化時代の生殖技術と家族形成』)(自ら主催) 2013 年 4 月 6 日 京都</p> <p>一般向け 計 3 件 日比野由利 「生殖技術のグローバル化と日本」 HWRN キックオフシンポジウム(金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー) 2014 年 1 月 25 日 金沢</p> <p>日比野由利「グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題」最先端開発支援プログラム FIRST シンポジウム 科学技術が拓く 2030 年へのシナリオ(ポスター) 2014 年 3 月 1 日 東京</p>

様式19 別紙1

	日比野由利「晩産化時代の卵子提供ツーリズムと国内解決法」金沢大学まちなかサイエンスセミナー 2014年3月2日 金沢 (ポスター)
図書 計2件	日比野由利編著『グローバル化時代における生殖技術と家族形成』日本評論社 2013年 (453598400X) 279ページ 日比野由利編著『アジアの生殖補助医療と法・倫理』日本評論社 (4589035790)2014年 211ページ
産業財産権 出願・取得状況 計0件	(取得済み) 計0件 (出願中) 計0件
Webページ (URL)	最先端次世代研究開発支援プログラム グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題 http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会(忘備録) http://azuki0405.exblog.jp Thailand Journal of Law and Policy http://www.thailawforum.com/articles/Becoming-a-Surrogate-Online.html Kanazawa University Research Bulletin http://www.kanazawa-u.ac.jp/research_bulletin/index.html
国民との科学・技術対話の実施状況	生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会主催:「グローバル化時代の生殖技術と家族形成」(公開研究会 2013年4月6日-7日 於 立命館大学衣笠キャンパス) 対象者: 研究者、メディア関係者、一般参加者 100名 (http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/poster_20130406.pdf) 11名の専門家を迎え、グローバル化する生殖技術の現状と、生殖技術を用いた家族形成をテーマとして、公開講演会を開催した。 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会主催:「卵子提供の制度設計を考える」(公開講演会 2013年9月14日 於 キャンパスプラザ京都) 対象者: 研究者、メディア関係者、一般参加者 110名 http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/poster_20130914_1.pdf 10名の専門家を迎え我が国における卵子提供の今後の制度設計をテーマとして、公開講演会を開催した。
新聞・一般雑誌等掲載 計23件	「卵子バンク 手探り船出」朝日新聞 2013年5月2日 「不妊治療“卵子提供”の実態とドナーバンク」『NHKジャーナル』2013年5月13日 「不妊治療:卵子精子提供 親が子に告知『必要ない』37%」『毎日新聞』 全国版 2013年9月7日 「不妊治療:卵子・精子提供、親が子に告知『必要ない』37% 金沢大・不妊患者に調査」『毎日新聞』 東京版 2013年9月7日

様式19 別紙1

	<p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対 不妊患者対象に調査」『下野新聞 SOON』 2013年9月12日</p> <p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対 不妊患者対象に調査」『琉球新報』 2013年9月12日</p> <p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対 不妊患者対象に調査」『京都新聞』 2013年9月12日</p> <p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対 不妊患者対象に調査」『北海道新聞』 2013年9月12日</p> <p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対」『新潟日報モア』2013年9月12日</p> <p>「卵子・精子の提供受け出産 子どもに通知4割慎重」『西日本新聞』 2013年9月13日</p> <p>「精子・卵子提供で出産した子へ 遺伝上の親開示 半数反対」『宮崎日日新聞』 2013年9月13日</p> <p>「遺伝上の親 半数『知らせない』精子卵子提供で不妊治療女性」『北國新聞』 2013年9月13日</p> <p>「不妊治療女性アンケート 卵子精子提供者の情報 半数、子どもに開示反対」『茨城新聞』 2013年9月13日</p> <p>「精子、卵子提供で誕生 子どもへ遺伝上の親告知 不妊治療中の女性半数反対」『静岡新聞』 2013年9月13日</p> <p>「遺伝上の親 子に伝えるべき？ 不妊治療女性 半数が『反対』」『中日新聞』 2013年9月13日</p> <p>「子に情報開示 反対半数 精子・卵子提供 不妊治療患者調査」『愛媛新聞』 2013年9月13日</p> <p>「精子・卵子提供で子に 遺伝上の親開示 半数反対」『北陸中日新聞』 2013年9月13日</p> <p>「卵子提供 『子に伝える』18%」『NHK WEB NEWS』(金沢版・全国版)2013年10月6日</p> <p>「卵子提供編① 卵子提供求め海外へ渡航 ドナーに謝礼金」『日本海新聞』2013年11月14日</p> <p>「卵子提供編① 最後のとりで 年間千人近く渡航か 」『東奥日報』2013年11月21日</p> <p>「卵子提供編① 海外へ『最後のとりで』納得のいく人生送って」『茨城新聞』2013年11月14日</p> <p>「卵子提供編① あくまで選択肢の一つ」『徳島新聞』2013年12月19日</p> <p>「卵子提供編① 卵子を求め海外渡航 日本人留学生がドナー」『岐阜新聞』2014年1月15日</p> <p>掲載ページは不明</p>
<p>その他</p>	<p>「第23回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 公開報告会『卵子提供の制度設計を考える』」 『IWJ Independent Web Journal』 2013年9月14日 (web放送) 10名の専門家を迎え我が国における卵子提供の今後の制度設計について公開講演会を開催した。</p> <p>日比野由利編「精子・卵子・胚の提供をとまなう生殖医療と家族」(仙波由加里、野辺陽子、日比野由利による分担執筆)小冊子 医療関係者や児童福祉関係者、当事者を対象として啓発のための小冊子を発行した。2,000部印刷し、各方面に配布した。</p>

様式19 別紙1

<p>(http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/pamphlet_20140109.pdf) 28 ページ</p> <p>生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会刊「2014 USA Surrogacy Conference in San Francisco」(仙波由加里) (http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/2014%20surrogacy%20conference%20in%20SF.pdf) サンフランシスコで開催された代理出産についての会議に参加した際の報告書</p> <p>日比野由利編『生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書 IV 卵子提供の制度設計を考える講演録』印刷公刊(http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/20130914_kouenroku.pdf)128 ページ</p> <p>日比野由利編『生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書 V 講演録』印刷公刊(http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/kouenroku_20131015.pdf)280 ページ</p> <p>日比野由利編著『生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書VI』印刷公刊(http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/houkoku_new.pdf)195 ページ</p> <p>日比野由利「晩産化時代の卵子提供ツーリズムと国内解決法」甲斐克則編『医事法講座 第5巻 生殖医療と医事法』信山社(予定) 2014年</p> <p>日比野由利編「精子・卵子・胚の提供をともなう生殖医療と家族」(仙波由加里、野辺陽子、日比野由利による分担執筆)小冊子 (http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/pamphlet_20140109.pdf) 28 ページ</p>

4. その他特記事項

特になし

実施状況報告書(平成25年度) 助成金の執行状況

本様式の内容は一般に公表されず

1. 助成金の受領状況(累計) (単位:円)

	①交付決定額	②既受領額 (前年度迄の 累計)	③当該年度受 領額	④(=①-②- ③)未受領額	既返還額(前 年度迄の累 計)
直接経費	57,000,000	38,550,000	18,450,000	0	0
間接経費	17,100,000	11,565,000	5,535,000	0	0
合計	74,100,000	50,115,000	23,985,000	0	0

2. 当該年度の収支状況 (単位:円)

	①前年度未執 行額	②当該年度受 領額	③当該年度受 取利息等額 (未収利息を除 く)	④(=①+②+ ③)当該年度 合計収入	⑤当該年度執 行額	⑥(=④-⑤) 当該年度未執 行額	当該年度返還 額
直接経費	9,891,551	18,450,000	0	28,341,551	28,233,039	108,512	0
間接経費	5,181,196	5,535,000	0	10,716,196	10,716,196	0	0
合計	15,072,747	23,985,000	0	39,057,747	38,949,235	108,512	0

3. 当該年度の執行額内訳 (単位:円)

	金額	備考
物品費	6,259,990	研究用消耗品(図書、ソフトウェアなど)等
旅費	5,228,030	生殖医療実態調査(ベトナム他)旅費等
謝金・人件費等	10,275,821	研究支援者給与、講演者謝金等
その他	6,469,198	荷物運搬料、翻訳代金等
直接経費計	28,233,039	
間接経費計	10,716,196	
合計	38,949,235	

4. 当該年度の主な購入物品(1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの)

物品名	仕様・型・性能 等	数量	単価 (単位:円)	金額 (単位:円)	納入 年月日	設置研究機関 名
				0		
				0		
				0		